

応用線形代数—第4回レポート

東京工業大学 情報理工学院 数理・計算科学系
福田光浩

2017年度 第1クオーター

提出〆切 5月18日（木）15時まで

レポートボックス1-1 応用線形代数

以下の問題では Matlab/Octave を用いて答えよ。また、学籍番号の一番最後の桁の数を a とする。

例えば、12B56789 ならば $a = 9$ とする。

1. $\mathbf{A} \in \mathbb{R}^{3 \times 3}$ と $\mathbf{e} \in \mathbb{R}^3$ を以下のように定義する。

$$\mathbf{A} = \begin{pmatrix} 1 & -1 & a \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{e} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}.$$

- (a) \mathbf{A} のべき乗のうち $\mathbf{A}^2, \mathbf{A}^3, \mathbf{A}^{10}, \mathbf{A}^{100}$ を求めよ。
(b) $\mathbf{x} = (\mathbf{A}^{100})^{-1}\mathbf{e}$ とするとき、ベクトル \mathbf{x} の第1成分を求めよ。
(c) 自然数 n に対する \mathbf{A}^n を (a) の結果から推測し、数学的帰納法により証明せよ。

2. 3×3 の対称行列 \mathbf{B} を以下のように定義する。

$$\mathbf{B} = \begin{pmatrix} 4 \times (a+1) & a+1 & -\sqrt{a+1} \\ a+1 & 4 \times (a+1) & -(a+1) \\ -\sqrt{a+1} & -(a+1) & 4 \times (a+1) \end{pmatrix}$$

- (a) \mathbf{B} の固有値のうち、負の固有値の数を答えよ。
(b) Matlab のコマンドで $[\mathbf{P}, \mathbf{D}] = \text{eig}(\mathbf{B})$ とすると、 \mathbf{B} の固有値を対角成分にもつ対角行列 \mathbf{D} と固有ベクトルを列とする行列 \mathbf{P} に分解できる。 $\mathbf{P}\mathbf{D}\mathbf{P}^{-1}$ と \mathbf{B} の差を Matlab のノルムで評価せよ。

- (c) $\mathbf{P}\mathbf{D}^{-1}\mathbf{P}^{-1}$ と \mathbf{B}^{-1} の差を Matlab のノルムで評価せよ.
- (d) Matlab では, 行列 \mathbf{X} について, $\mathbf{Y} = \text{sqrt}(\mathbf{X})$ とすると \mathbf{X} の各成分の平方根を成分に持つ行列 \mathbf{Y} が得られる. これを $\mathbf{Y} = \sqrt{\mathbf{X}}$ と書くこととする. ここで, $\mathbf{B}^{1/2}$ を $\mathbf{B}^{1/2} = \mathbf{P}\sqrt{\mathbf{D}}\mathbf{P}^{-1}$ で定義したときに, $(\mathbf{B}^{1/2})^2$ と \mathbf{B} の差を Matlab のノルムで評価せよ.
3. $\mathbf{C} = \mathbf{Q}\mathbf{E}\mathbf{Q}^{-1}$ と \mathbf{b} を以下のようにして定義する.
- $$\mathbf{Q} = \begin{pmatrix} \frac{5}{8} & -\frac{\sqrt{3}}{4} & -\frac{3\sqrt{3}}{8} \\ \frac{3\sqrt{3}}{8} & \frac{3}{4} & \frac{1}{8} \\ \frac{\sqrt{3}}{4} & -\frac{1}{2} & \frac{3}{4} \end{pmatrix}, \quad \mathbf{E} = \begin{pmatrix} 10^{a+5} & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 10^{-a-5} \end{pmatrix}, \quad \mathbf{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 3 \end{pmatrix}$$
- (a) 線形方程式系 $\mathbf{C}\mathbf{x} = \mathbf{b}$ を \mathbf{x} について解け.
- (b) $\mathbf{C}\mathbf{x}$ と \mathbf{b} の差を Matlab のノルムで評価せよ.
- (c) 上記の問題 2(b), 2(c), 2(d) と比較して 3(b) で求まった値について何か気が付いたことがあれば, 簡単にその事実とその理由を書け.
4. n を十分大きな正整数とし, 正方形行列 \mathbf{A} と \mathbf{B} をそれぞれ $\text{rand}(n)$, $\text{magic}(n)$ というコマンドで生成する. また, $\mathbf{c} \in \mathbb{R}^n$ をゼロでないベクトルとする. 線形方程式系 $\mathbf{Ax} = \mathbf{c}$ と $\mathbf{By} = \mathbf{c}$ を変数 \mathbf{x} と \mathbf{y} で解いた際, それぞれにかかった計算時間は異なるか. 解の精度つまり \mathbf{Ax} と \mathbf{c} の差, もしくは \mathbf{Bx} と \mathbf{c} の差についてはどうだろうか. 違いがある場合はその理由などを議論せよ.